国際交流・協力に関する情報誌

いちやり場通信

No.70 September 2017

発行者

(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団

Okinawa International Exchange &

Human Resources Development Foundation 〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16

TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220

HP: http://kokusai.oihf.or.jp

レポート①

「美ら島レスキュー2017」で多言語支援センター開設訓練を行いました

陸上自衛隊等が主催する大規模震災を想定した共同訓練「美ら島レスキュー」が去る7月19日(水)と20日(木)に那覇市の陸上自衛隊那覇駐屯地で開かれ、財団国際交流課職員も参加し、外国人支援にあたる多言語支援センター開設訓練を併せて実施しました。

沖縄本島で震度6の地震が発生し、県の広範囲にわたって津波が押し寄せ被災したことを想定し、大規模災害発災時の関係機関の協働態勢が機能するかどうか等の確認が行われました。

財団はまず自助を確保の上、多言語支援センターを開設するため、JICA沖縄国際センターに拠点を移動したことを想定し、ライフラインや交通情報を収集し、英語・中国語・ドイツ語・シンハラ語などに多言語翻訳し、各避難所で活動する災害時外国人支援サポーターから寄せられる情報を集約し、関係機関に発信するなどの活動を行いました。

一方、多言語支援センター内でのスタッフ間の引き継ぎが 十分でなく情報が錯綜してしまった点等、訓練では様々な 課題も浮き彫りになり、今後に活かしていきたいと思います。

今回の図上及び実動訓練では自衛隊、米軍、市町村の 関係者など約1,200人が参加する大規模な内容となり、 九州各県の防災危機管理課の多くの職員の方も視察に いらっしゃっていました。

【美ら島レスキュー2017 図上訓練 概要】

日時:平成29年7月19日(水)10:00~16:00

平成29年7月20日(木) 9:00~16:00

場所:陸上自衛隊那覇駐屯地体育館 主催:陸上自衛隊第15旅団・沖縄県

参加機関:沖縄県/市町村/消防/指定地方行政

機関/指定地方公共機関等

(103機関603名)



多言語支援センターでの情報収集/発信



会場の様子(陸上自衛隊那覇駐屯地体育館)



多言語支援センターでの情報分析

平成28年度に当財団が実施いたしました「災害時における(外国人)住民支援体制整備事業」が、地域の特性に対応し離島での災害時向け人材育成を推進した他、ソフト防災基盤強化のための広域的な連携を図った事などが評価され、東京都にある(一財)自治体国際化協会(クレア)の多文化共生優良事例として選定されました!本事例をはじめ他府県の優良事例は、クレアのホームページでご覧頂くことができます。

多文化共生事業事例集

年度 28

団体名

公益財団法人

ジャンル

沖縄県国際交流・人材育成財団

事業費総額 1,137 千円

助成金名: 多文化共生のまちづくり促進事業

災害対策

事業名

災害時における外国人住民支援体制整備事業

特徴

「災害時外国人支援サポーター養成講座」等を実施し、外国人を含む地域住民や (外国人)観光客に対して隔たりなく普遍的に対応することができるサポーターの 育成を推進したほか、平時からのソフト防災基盤強化に向け「災害時外国人支援運 営検討委員会」を実施し、広域的な連携を図った。

事業のポイント

- ◇地域住民や在住外国人が主体的に参加できる「災害時外国人支援サポーター養成講座」や「避難所運営訓練」を実施し、島嶼地域ならではの「自助」や「防災・減災」の意識啓発を図ることとした。
- ◇平時からのソフト防災基盤強化に向け、 「災害時外国人支援運営検討委員会」を 実施し、有識者と災害対応時の連携等に ついて検討を行い、広域的な協働体制の 構築を図った。

事業の背景・目的

◇沖縄県に来県する外国人観光客はクルーズ船の 寄港や那覇空港週間就航便数の増加に伴い、年 間 200 万人を越え増加の一途を辿っている。さ らに県内の在住外国人数は 1 万 4000 人を越 え、その国籍も 116 カ国に及ぶなど、地域住民 と居住する外国人の背景は多様化する傾向にあ る。このような環境の中、島嶼地域である沖縄で 大規模災害が発災した場合、どのような対応が とれるのか。そして災害時における地域住民及 び外国人の支援体制をどのように整備すべきな のか。そのような背景から本事業を実施した。

事業の概要

- ■災害時外国人支援サポーター養成講座(本島・石垣島・出前講座):
 - ◆参加者の「防災・減災」や「自助・共助」の意識を高め、大規模災害時に財団が立ち上げる「多言語支援センター」と協力しながら、避難所巡回を行い外国人の被災状況を確認したり、ライフライン等に関する情報を収集・発信することのできる人材育成を目指すため実施した。
 - ◆離島で発災した場合、沖縄本島からサポーターを派遣することが困難な ことから、離島地域でも同様の養成講座を実施した。
 - ◆在住外国人の防災や減災及び「自助意識」を啓発し、また大規模災害時における避難の手順を確認し、地域住民と共に避難所運営を行うことのできる担い手を育成するための出前講座を実施した。
 - ◇実施回数:本島 全3回/ 石垣島 全2回/ 出前講座 全2回
 - ◇場所:本島 JICA 沖縄国際センター/ 石垣島 石垣市民会館 出前講座 沖縄科学技術大学院大学

◇修了登録者:53名

- ■災害時外国人支援運営検討委員会:
- ◆内閣府沖縄総合事務局や沖縄気象台など有識者との意見交換を通して、 災害時の連携の検証や課題の認識と改善に向けた取り組みを行い、災害 対策本部設置後の支援体制を迅速かつ効果的に展開できるよう実施。
- ◇実施回数:全7回 ◇場所:P's SQUARE 内会議室 EXECUTIVE
- ◇委員: 自治体・消防・医療機関・国(内閣府・気象庁)・大学等の 有識者8名

■避難所運営訓練:

- ◆大規模災害時、行政が即座に地域に入ることが困難だと想定される事から、外国人住民や地域住民が主体となる避難所運営訓練を実施し、運営上の注意点や課題等についてワークショップを行った。
- ◇実施日:平成28年11月5日終日(津波防災の日)
- ◇場所:那覇市津波避難ビル ◇参加者:地域住民など 100 名
- ■「美ら島レスキュー」での多言語支援センター開設訓練:
 - ◆陸上自衛隊が主催する大規模災害を想定した共同訓練「美ら島レスキュー」に参加し、外国人支援にあたる多言語支援センター開設訓練を併せて実施した。
 - ◇実施日: 平成 28 年 7 月 20 日・21 日(それぞれ終日)
 - ◇場所:陸上自衛隊那覇駐屯地 ◇参加者:78機関444名



災害時外国人支援サポーター養成講座:避難所運営ゲーム



「美ら島レスキュー」での多言語支援センター開設訓練

事業実施における工夫点・事業の成果等

- ◇「災害時外国人支援サポーター養成講座」や在住外国人に対する 出前講座を通して、地域住民のみならず在住外国人に対しても防 災や減災の意識を深めることができた。
- ◇「災害時外国人支援運営検討委員会」や関係機関協働による訓練等を通して、広域的な連携体制を構築することができた。
- →その結果、外国人が日常抱える課題を洗い出すことができた。また、各委員からの意見を取り入れ、英語・中国語(繁体・簡体)・ 韓国語の多言語による外国人住民のための防災ハンドブックを制作し、県内の関係機関に普及を行った。
- →平成29年度以降も関係委員から協力を得ることができ、平成29年度災害時外国人支援サポーター養成講座において、「地震や津波」や「災害時におけるこころのケア」など、平成28年度より幅広い養成講座を実施することができた。
- ◇その他の成果として、JICA沖縄国際センター及び宜野湾市の2団体と「多言語支援センター」を開設するスペースを確保するための協定を締結した。
- →当財団は沖縄県西海岸地区の海抜2メートルの場所に位置し、津波が発生した場合は、外国人支援拠点としての機能を果たせないことが考えられる。そのため、大規模災害発生時に津波による被害を受ける可能性が少なく、また「多言語支援センター」開設等のための一定のスペースを確保する必要があった。



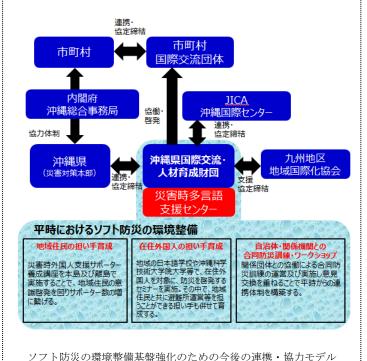
災害時外国人支援運営検討委員会



JICA 沖縄国際センターとの協定締結 (右: JICA 沖縄国際センター河崎所長)

今後の課題・将来に向けての展望等

- ◇事業の展望として、平時におけるソフト防災の環境 整備に関する今後の連携・協力モデルを策定し、引 き続き地域住民及び在住外国人の担い手育成推進 に取り組んでいく。
- ◇自治体や行政、消防・警察等の関係機関、また災害時に地域支援が可能なその他の機関との合同による防災訓練等の実施により、平時から「顔の見える化」を図り、協働・連携・役割・体制の確認を図れるよう努めていく。
- ◇県内の行政職員も含めた住民の「防災や減災」に対する意識の低さは、本県のソフト防災の環境整備において大きな課題の1つである。今後は、市町村や行政職員等を対象としたシンポジウムを積極的に開催することで、横の連携を構築し、災害時に担うべきそれぞれの役割を確認することのできるチャンネル作りに取り組んで行く。
- ◇九州地区地域国際化協会等と広域的かつより現実に即した「災害対策支援シミュレーション」を実施し、大規模災害時における各協会の支援対応力の向上を図り、各協会の対応を比較研究し、多言語支援センターの運営に役立てる訓練を実施することで、平時からの連携を深めるよう取り組む。



プノト防災の環境整備基盤独化のための气後の連携・協力モデル

事業担当者のふりかえり

- ⇒ 本事業の様々な取り組みを通して災害時における外国人支援は、災害時に外国人に安心感を与えることであり、そのためには、外国語力だけではなく、災害に関する様々な知識を理解することが大切であり、講座や訓練等もそのような観点から企画・実施する必要性を感じた。
- ⇒ 平時からの関係団体との協働基盤の強化が、事業実施や災害時に生きてくることを実感し、引き続き協力機関との連携を模索していきたい。

防災関連イベント:お申し込みや詳細は財団ホームページ http://kokusai.oihf.or.jpでチェック



当日、直接会場へお越し下さい。(申し込み不要)

10時から13時の間、自由に参加(出入り)下さい 2 3 2 2 お問い合わせ (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 葛·久田 TEL: 998-942-9215 FAX: 098-942-9220 Email: kokusai@ohf.or.jp



沖縄の防災を考える 平成29年度 災害危機管理シンポジウム



災害時避難所体験会

災害時の避難所を体験することができます。一般参加者や地 域住民は、訓練当日、自由に参加(出入り)してください。 当財団で養成した災害時外国人支援サポーターは、避難所 運営チームの一員として参加し、避難する一般参加者や地域 住民に対応します。

■共催:那覇市/那覇市消防局

■実施日時:平成29年11月5日(日)10:00~13:00* *サポーターの集合・終了時間は別途定めています。

■場所:那覇市津波避難ビル(那覇市松山2-22-1)

■その他:災害時支援サポーターは、別に集合時間を設け、訓練

終了後振り返り会を行います。

災害時外国人支援サポーター養成講座@石垣島

石垣島で大規模災害が発災した場合、現在育成している災 害時外国人支援サポーターを沖縄本島から応援として派遣す ることが困難であることから、参加者の「自助・共助」の意識を 高め、要支援者になりがちな外国人を支援することができる人 材を育成するために実施します。観光従事者や外国人支援 に興味がある方等、ぜひご参加下さい。

■共催:石垣市

■協力:一般社団法人石垣市観光交流協会

■実施日時:平成29年11月13日(月)10:30~17:00

平成29年11月14日(火) $9:00\sim15:00$

■場所:石垣市健康福祉センター(石垣市字登野城1357-1)

■参加者募集締切日:平成29年10月26日(木)17時まで

■その他:参加に際して、語学力や年齢は問いません。

平成29年度災害危機管理シンポジウム

沖縄県地域防災計画に記載がある関係機関を対象に、平 時からのソフト防災基盤の強化に向け、大規模災害発災時に 地域住民や(外国人)観光客の支援体制をどのように整備 すべきなのか考えます。シンポジウムでは、実際に東日本大震 災で岩手県陸前高田市の避難所運営に携わった防災士の 佐藤氏の講話をはじめ、那覇市消防局のファシリテーションによ る避難所運営ゲームを通してあげられる課題に対する改善策 を協議します。

■共催:一般財団法人沖縄コンベンションビューロー/那覇市消防局

■実施日時:平成30年1月11日(水)9:30~17:00

■場所:沖縄産業支援センター (那覇市小禄1831番地1)

■参加者募集締切日:平成29年12月20日(水)17時まで

■その他:参加者の募集は準備でき次第、開始します。定員に余裕 があれば、当財団で修了登録している災害時外国人支援 サポーターも参加することができます。

レポート③

外国語統本語糾闡》世教室

多文化共生社会を推進するため、県内に住む外国人・県民の親子を対象に外国語による絵本の読み聞かせ を通して各国の言葉や文化に親しみ、異文化交流の場を提供することを目的とした「外国語絵本読み聞かせ 教室」を開催しています。

8月、県内3ヵ所の公民館、図書館で開催しました。沖縄県内に住む外国人の方を講師に招き、その国のことを紹介してもらい、それぞれの国の絵本の外国語での読み聞かせを行っています。外国語を話してみたり、クイズやアクティビティをしたりと、参加した親子に大変好評です。

下半期も3回開催の予定です。ご興味のある方はお誘いあわせのうえぜひご参加ください!!

@牧志駅前ほしぞら公民館



スリランカについての文化紹介、スリランカの言語である「シンハラ語」による読み聞かせを行いました。スリランカの観光地、食事、スポーツの紹介、民族衣装の着用など、あまり触れたことのないスリランカの文化に子どもも大人も興味津々の様子でした。スリランカの絵本は「ねこのくにのおきゃくさま」というタイトルで、スリランカの陽気な雰囲気が伝わるとてもカラフルな絵が特徴的でした。





@西原町立図書館



中国語の絵本は「子馬の川渡り(小马过河)」という昔からある中国の物語でした。子馬と母馬のやりとりを通して、母馬の愛情を深く感じることのできるストーリーに、子ども達もじっと耳を傾けていました。アメリカの文化紹介では、子ども達の遊びや、動物の鳴き声を英語で教えて頂きました。英語の絵本は「Room on the Broom(まじょとねこどんほうきでゆくよ)」というタイトルで、魔女のほうきの上で次々と起こるトラブルを、色んな動物たちが助け、解決していく、リズミカルな内容でした。





@沖縄市立図書館





フィリピンの伝統的な衣装やサンダル、料理、デザート、フルーツから人気のスポーツ、ダンスまで、幅広く紹介して頂きました。タガログ語の絵本は、「いちばにおでかけ」というタイトルで、女の子がお母さんと一緒に市場へお買い物に行くお話でした。

ベトナム出身の講師の方は、綺麗なアオザイの装いで文化紹介をして頂きした。ベトナム語の絵本は、「すいかのはなし」というお話で、ベトナムでスイカが広まった様子が語られていました。さらに講師が自作のスイカのカービング(果物彫刻)を持参し、披露していただきました。



- ◆いつも楽しみにしています。これからも世界のいろいろな 国の絵本を読んできかせて下さい。
- ◆普段知ることのできない言語にふれ合えてとても良い機 会になりました。お家に帰って、たくさんお話できそうです。

下半期の予定

10/22 @北谷町立図書館 11/18 @JICA沖縄国際センター ※JICAフェスティバルで開催します 12/17 @沖縄県国際交流・

人材育成財団

ご参加お待ちしております!!

レポート③

ウチナーネットワークサポート事業 歴史学習バスツアーを実施

去る8月9日及び10日に歴史学習バスツアーを実施しました。 両日、沖縄県が実施する国際交流事業の参加者(OB/OG) を中心に国際交流に興味関心を持つ方々が21名参加しました。

1日目の事前学習では琉球大学法文学部ドイツ語・ドイツ文化教授であるティル・ヴェーバー氏をお招きし、ドイツのギムナジウムにおける戦後教育について英語でご講演いただきました。参加者は日本や沖縄、ドイツの戦後教育の比較の他、ドイツでは"過去の克服"の為に人々がどのような考え方を持ち行動しているのか等を学びました。

2日目は、フィールドワークを行いました。 宜野湾市の嘉数高台公園にて平和ガイドの北上田源氏と共に公園内の戦跡や慰霊碑を巡りながら、ガイドがどのようにして戦争体験を話し、平和について伝えているのかを学びました。 実践ワークショップでは、沖縄県平和祈念資料館にて情報収集をした後に、株式会社がちゆん代表取締役国仲瞬氏が中心となり、参加者は平和の礎に実際に刻銘されている方を参加者が実際にガイドをする体験を行いました。

ガイド体験を通して戦争体験について何を核に伝えるか、どのような話し方が効果的なのか等の技術も学びつつ、参加者は自らが平和を担っていく世代としての自覚や、受動的に学ぶだけではなく伝えていくことの重要性にも気付くことができました。

*本事業は、沖縄県の委託事業として実施しています。



嘉数高台公園でのフィールドワーク



平和祈念公園でガイドに挑戦する参加者



課題に取り組む参加者



外国人に対応するボランティアさん

日本語読み書き教室

毎週金曜日の19時から21時の間、財団内で「日本語読み書き教室」を行っています。日本で生活するのに必要な読み書き力を学ぶのはもちろん、参加する外国人コミュニティーの憩いの場として、毎回20名程度が参加されます。教室には、メインで指導する先生の他、地域のボランティアの皆さんも参加し、外国人の皆さんとのコミュニケーションを楽しんでいます。

毎月末、参加者がそれぞれ一品ずつ持ち寄って、カフェ形式で、 日本語を学んだり、交流を深めています。

日本語読み書き教室への参加者は、随時募集しています。また、自分のペースで参加できるときだけの参加もOKです。参加希望者や興味がある方は、ぜひ当課までお問い合わせください。





平和学習研修



6月23日の慰霊の日、平和祈念公園にて平和について考えました。平和祈念資料館の視察、全戦没者追悼式典に参列しました。同公園内にある平和の礎では、自身の親戚の名前を探す姿も見受けられました。その後、場所を移してワークショップを行い、「今日学んだこと、経験したことを帰国後にどうやって出身国の人々に伝えるか」についてそれぞれ考えました。

伊江島民泊研修

伊江島で行われている「民泊」に参加させていただき、沖縄の自然や文化について学ぶ研修を行いました。受入家庭の皆様には暖かく迎え入れていただき、城山をはじめ島内の名所を巡り、サーターアンダギー作りや、貝細工など、多くの貴重な体験・経験をしました。2泊3日と短い間でしたが、留学生と受入家庭の皆さんの間には確かな絆ができ、最後は「いってらっしゃい!」と見送っていただきました。



【県委託事業】

ウチナーンチュ子弟等留学生研修報告

歴史学習研修

沖縄県立博物館を視察し、琉球王国の成立から近代の沖縄までの歴史の流れや背景について学びました。展示されている本物の万国津梁の鐘、朝貢船の模型など貴重な資料を見ることができました。

展示観覧の後は、仲村顕氏を招いての講座を行い、海外へ雄飛した出移民や海外から琉球・沖縄へやってきた入移民の活躍についても学びました。



ウチナーンチュ子弟等留学生 受入事業とは

当財団が沖縄県より委託を受け実施・運営している事業です。

沖縄県から海外へ移住した県系人の 子弟や、本県と関わりの深いアジア諸 国等から優秀な人材を受け入れ、県 内の大学や研修機関等で修学・研 修させることで、将来的に本県と出身 国とのネットワークの架け橋となる人材 の育成を目的としています。

本年度は、アメリカ、アルゼンチン、カナダ、ボリビア、ブラジル、ペルー、中国・福建省、台湾から計14名の留学生が沖縄で勉学・研修に励んでいます。

国際交流団体イベント情報① 2017年10月~12月

①日程・時間 ②場所 ③お問い合わせ先

おきなり国際協力・交流フェスティバル2017

- ①11月18日(土)9:30~18:00
- ②JICA沖縄国際センター (浦添市前田1143-1)
- ③JICA沖縄国際センター TEL 098-876-6000

JICA沖縄国際センターでは、多くの県民の皆様の国際協力・交流に対する理解促進を図り、今後の関心・参加を高めていただくことを目的として、「おきなわ国際協力・交流フェスティバル2017」を開催します。

沖縄県国際交流・人材育成財団、沖縄県、浦添市との共催により、県内で国際協力や国際交流の各種事業を実施する約30の自治体や企業、NPO団体等によるブース展示が行われます。また、50か国以上の開発途上国から沖縄に学ぶために滞在するJICA研修員との交流・展示ブースに加え、彼らによる「世界の歌と踊り」のイベントが予定されています。さらに、多国籍屋台やスペシャルバイキングもあり、食を通じた異文化理解をお楽しみ頂けます。

今年も、見て楽しむだけにとどまらず、来場者の方に体験しながら学んでいただくことをコンセプトに、参加型形式のブースや国際理解ワークショップ等、内容盛り沢山ですので、国際協力や交流に興味があり、世界で起きていることや沖縄発の国際協力・交流を実施する団体について知りたい、体験型の展示・イベントに参加したいという方は、是非お誘いあわせの上ご来場下さい。









全体: 油立行民並人国際位方的機(JKCA)沖縄国地センター 共権「沖縄県、海添市、(公約)沖縄無国際交流・人材育成制領 初力・湖市市田原文階金)、JCA沖線書館所、国際村本総合 接張「沖縄県教育委員念、沖縄タイムス社、環球新報社、NHK沖縄放送局



浦添市字前田1143-1 田: **098-876-6000** (担当:遊佐・安元)



国際交流団体イベント情報 2 2017年10月~12月

①日程・時間 ②場所 ③お問い合わせ先

浦添市国際交流協会

ゆし豆腐づくり

- ①10月14日(土)10:00~14:00
- ②うらそえぐすく児童センター

(浦添小学校となり)

「ゆし豆腐づくり」を通して国・世代を越えた交流を体験しませんか?石臼(いしうす)で豆ひきから行います。

【参加費】 会員 300円 一般 500円 小学生以下 100円



【定員】 50名

キッズ英語

- ①11月4日(土)~1月14日(日) 全5回 13:00~14:00
- ②「浦添市男女共同参画推進 ハーモニーセンター」及び 「てだこホール市民交流室」等

英語の歌・踊り・ゲーム・紙芝居・クラフト 等を親子で一緒に楽しい英語の時間を 過ごしましょう。

【参加費 (親1人·子1人)】 会員:2,000円 一般:3,000円



ふれあい講座

①10月20日(金) 19:00~20:30 ②JICA沖縄国際センター 体育館 JICA国際センターの研修員さんの国の紹介 や文化の紹介、ゲームなども予定しており、毎

回好評の講座です。

【参加費】無料

世界の料理講座

①11月18日(土)10:00~13:00 ②浦添市中央公民館 2F 調理室

世界各国の料理を通して、その国の文化に触れます。

【受講料】会員 1,300円 一般 2,000円



お問い合わせ先

③浦添市国際交流協会

TEL: 098-879-3010

E-mail: u-kokusai@woody.ocn.ne.jp

国際交流団体イベント③ 2017年10月~12月

①日程・時間 ②場所 ③お問い合わせ先

公開シンポジウム 「沖縄とスリランカ〜次世代教育について語り合う」

スリランカの社会背景と教育環境に関する講話、スリランカの教育現状と沖縄での交流事業について 双方の教員からの報告、人格教育の課題と次世代教育のヴィジョンについて参加者とともに考えます。 その後、交流会も行われます。



- ①2017年10月21日(土) 14:00~17:00
- ②沖縄大学アネックス共創館
- ③沖縄大学地域研究所

TEL: 098-832-5599 FAX: 098-832-3220

沖縄スリランカ友好協会

TEL & FAX: 098-832-6564

E-mail: chandralal@okinawa-u.ac.jp

【ニューカレドニア移民史】 「ニューカレドニアのまぶいぐみ」

ニューカレドニア移民の方々の現地での生活や沖縄帰郷、墓参り、世界のウチナーンチュ大会への参加などの人々の心情の記録です。 去る8月には、桜坂劇場にて上映されました。

■今後の上映予定

9月いっぱい: 東京・大阪にて上映

10月16日~21日: ニューカレドニア・ヌメアにて上映祭*

この期間ニューカレドニア友好協会では、第4次「ニューカレドニア友好交流現地訪問」ツアーを実施し、ニューカレドニア沖縄県人会やヌメアでの映画上映会や親戚交流会・芸能演舞などの交流を行います。



【沖縄ペルー協会】 JICAフェスティバルに出展します

ペルー共和国のコーナーを設置し、同国の地理・文化・習慣や衣装などの紹介と民芸品等の小物の販売、可能であれば民族舞踏の紹介も行います。

①11月18日(土) 9:30~18:00 ②JICA沖縄国際センター

③担当:古謝 (TEL 090-8292-1993)



国際交流団体イベント④ 2017年10月~12月

▼ | ①日程・時間 ②場所 ③お問い合わせ先

2017年度JICAボランティア秋募集体験談&説明会

JICAボランティア制度の説明やOB/OGによるグループ相談の他、 盛りだくさんのイベントに参加できます!

- ①2017年10月4日(水)19:00~21:00
- ②JICA沖縄国際センター

(浦添市前田1143-1)

【キャリアアップを目指すための進路相談】 行政出身の進路相談カウンセラーによる、キャリアアップのための個別相談を開催

- ①2017年10月11日(水)19:00~21:00
- ②沖縄産業支援センター 研修室(中)304号室

(那覇市字小禄1831-1)

【帰国隊員による活動報告会】

帰国隊員からより詳しい活動内容を聞けるチャンス!

- ①2017年10月20日(金)19:00~21:00
- ②JICA沖縄国際センター ニライホール 3 F多目的室 (浦添市字前田1143-1)

【派遣国から現地生活の様子を生中継】

沖縄と現地をスカイプで結び、活動中の隊員の生の声をお届けします!

①2017年10月7日(土)10:00~12:00

②沖縄県立博物館・美術館 美術館講座室

(那覇市おもろまち3-1-1)

【海外留学経験がなくても英語がペラペラになる方法】 JICA職員が、海外に行かなくても英語が上達する方 法をこっそり教えちゃいます!

①2017年10月14日(土)14:00~16:00

②名護市国際交流会館 ホール

(名護市宮里487)

【OB/OGによるパネルトーク】

様々な国・職種のボランティア経験者の話が聞けます!

お問い合わせ先

③JICA沖縄国際センター ボランティア班

TEL: 098-876-6000

英語力とリーダーシップスキルを高めませんか?

グローバルリーダーシップセミナーのご案内

中学生から大学生を対象とし、沖縄科学技術大学院大学(OIST)にて定期的に、グローバルリーダシップセミナーを開催しています。セミナーでは、OISTの外国人研究者と英語でコミュニケーションを図ったり、英語によるOISTツアーに参加し、参加者の国際性を養います。また後半は日本語によるディスカッションに参加し、「批判的思考力」の基礎を学びます。今年度は、来る11月と2月に実施を計画しています。

- ■行事名:第4回グローバルリーダーシップセミナー
- ■実施日時:平成29年11月25日(土)9:30~16:00
- ■場所:沖縄科学技術大学院大学(国頭郡恩納村1919-1)
- ■参加者募集締切日:平成29年11月9日(木)17時まで
- ■その他: 当財団ホームページ内のオンラインフォーム (http://kokusai.oihf.or.jp)からエントリーして下さい。 OIST研究者と触れあうチャンスです。多くの皆さまのご応募をお待ちしています。



0

お

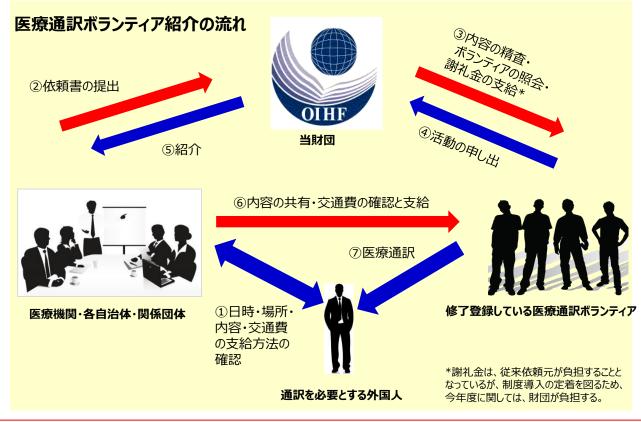
願

医療通訳ボランティアを紹介派遣しています

在住外国人との共生社会に向けた環境を整備し、医療機関等を受診する際のコミュニケーションに不安を抱える在住外国人のために、医療通訳ボランティアを養成し、紹介派遣を行っています。現在100名*(英語67名・中国語20名・韓国語8名・スペイン語10名)が、当財団の医療通訳ボランティアとして修了登録し活動しています。ボランティアの活動に対する負担軽減のため、「緊急」と「重篤」を伴う依頼や、個人からのご相談はお受けしていませんが、医療機関や各自治体での集団検診等で、困っている在住外国人の方がいらっしゃいましたら、ぜひ本制度をご活用ください。

なお、ご利用の際はホームページにございます実施要領を必ず確認下さい。

*複数言語登録されている方を含む



あなたも賛助会員になりませんか!

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団(略称「OIHF」)は、本県の多文化共生社会の推進に寄与し、振興発展を担う人材育成事業や、国際性豊かな活力ある沖縄づくりを目指し、国際交流・協力事業を推進しております。当財団の趣旨や活動に賛同し、活動を支援してくださる、賛助会員を募集しています。沖縄県国際交流・人材育成財団の事業は会員の皆さまの支援によって支えられています。皆様のご協力をお願いいたします。

【年会費】 個人:3,000円 団体:10,000円

★お申し込み・お問い合わせは国際交流課まで★

TEL:098-942-9215 FAX:098-942-9220 E-mail:kokusai@oihf.or.jp

ご協力のお願い